



慶應義塾大学言語文化研究所
2026年度 公開講座

ことばの宝庫 ミャンマー

少数民族カレン・カチン・チンの
言語文化の魅力をひもとく

東南アジアの西端に位置するミャンマー（ビルマ）は民族の宝庫です。ミャンマー政府によると135種類の民族が住んでいて、うち人口の多いカチン・カヤー・カレン（カイン）・チン・ビルマ・モン・ラカイン・シャンが八大主要民族とされています。この中からカレン・カチン・チンの3民族を取り上げ、その言語と文化の魅力を紹介します。最大民族ビルマの影に隠れて普段はあまり見えてこない少数民族の言語と文化に触れてみませんか。

第1回

10 | 3 (土)

14:00 ▶ 16:00

「カレン人の言語と文化」

加藤 昌彦

慶應義塾大学
言語文化研究所教授



第2回

10 | 10 (土)

14:00 ▶ 16:00

「カチン人の言語と文化」

倉部 慶太

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所准教授



第3回

10 | 17 (土)

14:00 ▶ 16:00

「チン人の言語と文化」

大塚 行誠

大阪大学
人文学研究科准教授



Zoomによる
ウェビナー

受講料無料

事前申込制

<https://www.icl.keio.ac.jp/koukaikouza>

申込締切：各講座開催日2日前まで



- 参加を希望される方は、研究所ホームページもしくはQRコードからお申し込みください。
- お申し込みいただいた方には、開催前日に事務局よりオンライン開催情報をお送りします。